



シリーズ220

# 高めよう！ 人権意識

## 心のかけ橋

人権・生涯学習課  
(☎928-1006)

### 男女共同参画社会とは

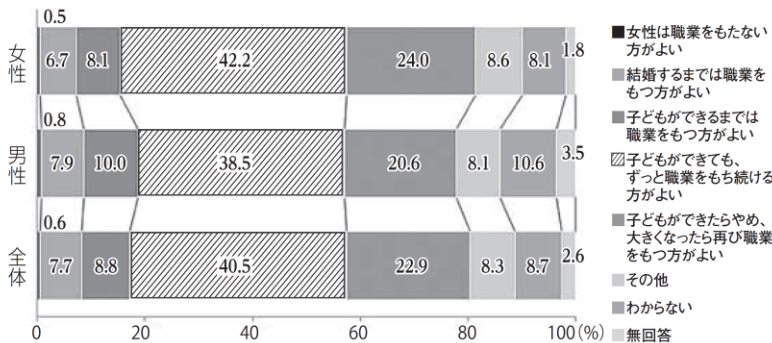
男女共同参画社会とは、男性も女性もみんなが生き生きと暮らせる社会のことです。その実現のため、地域や事業者、NPO法人などと協働し、出前講座や講演会などさまざまな取り組みを進めています。

男女共同参画に関する意識の変化や今後の生活などについて、昨年10月に市内の18歳以上の男女3,000人を対象に行った市民意識調査から考えてみましょう。

### 男女は平等？

社会全体での男女の平等感については、「男性の方が非常に優遇」どころかといえば男性が優遇」と思う人の割合が70%を超えています。男女の地位が「平等」と思う人の割合は13%と少なく、まだまだ男女の不平等感が強いことが分かります。

一般的に女性が職業をもつことについて



「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という性別による固定的役割分担意識では、「賛成」どちらかといえば賛成」と思う人が5年前の調査より11%減少しています。男は仕事、女は家庭という固定的意識が改善されているようです。このことは、女性の就業に対する意識にも変化を及ぼしています。

### 男は仕事、女は家庭？

### 誰もが暮らしやすいまちへ

グラフを見ると、女性が職業をもつことについて「子どもができてもずっと職業をもち続ける方がよい」と思う人が40.5%と最も多く、前回の調査より17.7%増加し、近年女性の就業率が上昇を続けていることに表れています。

しかし働く女性は増えている一方で、女性管理職は増えていないなど、女性の力が十分に生かされていないのが現状です。

働く女性が自分の個性と能力を十分に発揮するためには、男女の区別なく、長時間労働の見直しや育児・介護休業制度の普及・取得促進などとともに、家庭では男性と女性が協力して家事・育児に取り組むことが必要です。

男性も女性も仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）がとれた暮らしをすることは、誰もが暮らしやすい社会につながります。

まずは家庭や地域など身近なところから、自分の生活を見つめ直し考えてみましょう。

男女共同参画センター (☎973・8895)

人権は一人ひとりの宝物